

令和4年(2022年)10月28日  
 建設部 都市・まちづくり課  
 高倉 明子(課長) 倉根 明德(担当)  
 電話:026-405-4861(直通)  
 026-232-0111(代表) 内線3354  
 F A X : 026-252-7316  
 E-mail:toshi-machi@pref.nagano.lg.jp

## 第10回プラチナ大賞 優秀賞(広域資源活用賞)の受賞について

令和4年10月24日(月)に東京都千代田区で第10回プラチナ大賞の最終審査会・表彰式が開催され、UDC信州が上田市、千曲市等と進めている広域シェアサイクルの取組みが、優秀賞(広域資源活用賞)を受賞しました。

### 1 プラチナ大賞の概要

イノベーションによる新産業の創出やアイデアあふれる方策により、地域や社会の課題を解決している自治体や企業等の取組を賞という形で称えるもので、平成25年から一般社団法人プラチナ構想ネットワーク(会長 小宮山 宏氏)が実施。

※一般社団法人プラチナ構想ネットワークは、「地球が持続し、豊かで、すべての人の自己実現を可能とする社会」をプラチナ社会と定義し、その実現を目指している団体。プラチナ構想を具現化することを目的に、「普及・啓発」、「人財育成」、「社会実装」を3本柱に活動。

### 2 受賞対象となった取組

#### (1) 受賞団体

長野県、上田市、千曲市、上田地域シェアサイクル活用推進協議会、一般社団法人信州千曲観光局

#### (2) 取組内容

『地域・文化・産業をつなぐ広域型シェアサイクルの導入

～暮らしたい!行ってみたい!味わいたい!地域を目指して～』

※取組の概要は【別紙1】のとおり

### 3 その他

- ・最終審査発表会・表彰式では、関副知事、吉澤上田市副市長、大内千曲市副市長がプレゼンテーションを行い受賞。
- ・今回の受賞により、長野県、上田市、千曲市は「プラチナシティ」に認定。本県として初の受賞。県内市町村では今回小諸市が優秀賞(新しい時代のまちづくり賞)受賞。(これまでに小海町、高森町が認定されている)

※第10回プラチナ大賞の受賞一覧は【別紙2】のとおり



プラチナシティ認定証

団体名	長野県、上田市、千曲市 上田地域シェアサイクル活用推進協議会、一般社団法人信州千曲観光局
問合せ先	長野県建設部都市・都市まちづくり課/信州地域デザインセンター担当
タイトル	<b>地域・文化・産業をつなぐ広域型シェアサイクルの導入</b> ～暮らしたい！行ってみたい！味わいたい！地域を目指して～

## 1 取組概要

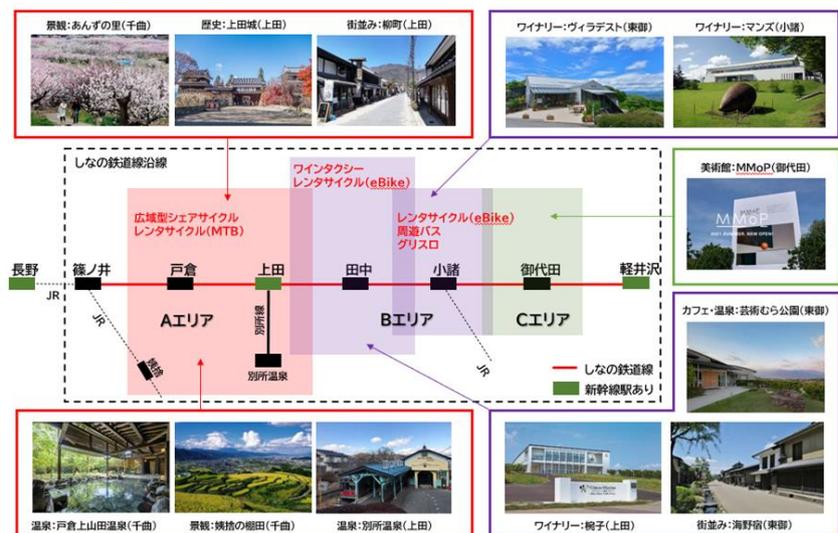
長野県のしなの鉄道線沿線地域（軽井沢町～長野市）には、地域食材を使ったレストラン、ワイナリー、温泉、日本遺産、棚田など、多数の地域資源が存在し、年間2,800万人の観光客が訪れているが、その8割が新幹線駅のある自治体（軽井沢町、上田市、長野市）に偏ってしまっている。原因のひとつとして、各駅から地域資源までの交通手段が十分でないことが考えられるため、公・民・学が連携したプラットフォームをつくり、自治体の垣根を超えた広域回遊のための環境構築を図っている。ただし、単なる観光スポット巡りでは、持続可能性が期待できないことから、環境にやさしく、受け入れ側の生活や文化を壊さず、地域経済がしっかり循環するような環境づくりを目指している。手順は下図のとおり。



## 2 具体内容

現状把握や自治体職員を中心とした勉強会の実施により、下図のような交通手段の整備に加え、地域全体のブランディング、既存プロジェクトとの連携が必要であることが分かったが、それらを同時に進めていくことは困難であることから、すぐに始められ、かつ地域連携や官民連携を促進することができると考えた「広域型シェアサイクル」をリーディング・プロジェクトとして実施。

コロナ禍に有効な移動手段として評価されている自転車であるが、今回複数の自治体をつなぐ「広域型シェアサイクル」を導入したことで、地域連携が促進されただけでなく、ゼロカーボンや経済の地域内循環など、様々な分野への波及効果が出始めている。



## 3 その他

本取り組みで重視したことは「持続可能性」「多分野への連鎖」「関係者自身が楽しむ」ことの3点。特に「楽しんでやっぺいこう！」をスローガンに、小さく始め、楽しいと思うことをつなげていくことで大きな目的を達成することとした。その点で、今回リーディング・プロジェクトとして実施した「広域型シェアサイクル」は素晴らしい成果を上げており、今後のさらなる展開に期待していただきたい。



2022年10月24日  
プラチナ大賞運営委員会

## 【速報】第10回プラチナ大賞 最終審査結果発表

2022年10月24日、プラチナ大賞運営委員会(委員長:増田寛也)と一般社団法人プラチナ構想ネットワーク(会長:小宮山宏)は、「第10回プラチナ大賞 最終審査発表会・表彰式」を実施しました。

そして、プラチナ大賞審査委員会(審査委員長:武内和彦)の審査の結果、全44件の応募の中から、以下のとおり大賞及び優秀賞を決定したのでお知らせします。

賞名	取り組み名称	団体名称
大賞 総務大臣賞	道路と鉄道の「二刀流」DMV ～世界初に乗りに行こう!～	徳島県、高知県、阿佐海岸鉄道株式会社
大賞 経済産業大臣賞	すり足・ふらつきに着目した認知症予防・早期発見デバイス「D-walk」の開発について	岩手県、一関市(岩手県)、一関工業高等専門学校
優秀賞 新しい時代のまちづくり賞	ウエルネスシティ信州小諸 実現に向けたコンパクトシティの取り組み ー自分らしく居られるまち、自分に還れるまちー	小諸市(長野県)
優秀賞 全員参加の地域づくり賞	ともに支え合う生涯活躍のまちづくり	佐々町(長崎県)、株式会社MK総合研究所
優秀賞 環境文化賞	くまもと型伝統構法を用いた木造建築物の普及促進	熊本県、くまもと型木造伝統構法普及検討委員会、一般財団法人熊本県建築住宅センター
優秀賞 GX社会賞	グリーンエネルギーが地域をめぐるGX Cityプロジェクト	株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
優秀賞 DX里山再生賞	里山広葉樹のデジタルデータ化による新たな流通システムの開拓	株式会社Andeco、Aroboreta合同会社、神戸大学大学院農学研究科、信州大学
優秀賞 広域資源活用賞	地域・文化・産業をつなぐ広域型シェアサイクルの導入～暮らしたい!行ってみたい!味わいたい!地域を目指して～	長野県、上田市(長野県)、千曲市(長野県)、上田地域シェアサイクル活用推進協議会、一般社団法人信州千曲観光局
優秀賞 グリーン技術革新賞	石油系素材、特にプラスチックを森林資源(改質リグニン他)に代替する事業の推進	株式会社リグノマテリア、株式会社JHE、一般社団法人新・森林資源-改質リグニン-普及産業会
優秀賞 DX社会賞	データ活用で実現する人中心のDXサービス～共生し、繋がる社会～	株式会社東芝、東芝データ株式会社
優秀賞 次世代育成賞	本物の自然を学ぶ「黒潮町の自然体験型教育旅行プログラム」	黒潮町(高知県)、特定非営利活動法人NPO砂浜美術館、一般社団法人黒潮町観光ネットワーク
優秀賞 共創社会賞	ビヨンド・“ゼロカーボン”を目指す“Co-JUNKAN”プラットフォーム 研究拠点	東京大学未来ビジョン研究センター
優秀賞 林業再生賞	林業成長産業化に向けて! ～秋田スギのふるさと、ふたたび～	大館市(秋田県)、大館北秋田地域林業成長産業化協議会
優秀賞 行政イノベーション賞	豊田市のプライド ～市債権の徴収一元化と官民連携による未収債権の削減～	豊田市(愛知県)、自治体支援弁護士プロジェクトチーム、豊田市社会福祉協議会
優秀賞 川を活かしま賞	海はないけど川がある!川の国埼玉～川の再生から「Next川の再生」&「SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト」へ一企業等と連携した川の保全・共生と河川空間の持続的な利活用ー	埼玉県

プラチナ大賞運営委員会事務局 担当:伊藤、星

Tel: 03-6858-3546 Mail: pt-taishou@platinum-network.jp